

令和元年 6 月 26 日

### 一部報道内容について

令和元年 6 月 20 日付で報道された記事に関し、KAZMAX TRADER'S SALON 事務局、及び、KAZMAX(吉澤和真・よしざわかずま)の回答は別紙のとおりです。

本回答は記事内容の大局に関わるところのみに言及し、細かな表現についての回答は差し控えております。予めご了承お願い致します。

□本件に関するお問合せ先

KAZMAX TRADER'S SALON 事務局

メールアドレス: [salon@kazmax.info](mailto:salon@kazmax.info)

## 一部報道に掲載されている見出し記事に対する回答

**1. 【仮想通貨の高騰によって生まれた“億り人”の一人】内の記事について**

初めてのトレードは、仮想通貨高騰後の下落を的中させた空売りからであり、高騰にて”億り人”になったのではありません。

**2. 【AKB48・峯岸みなみと飲みに行くことも】内の記事について**

一部誇張された表現はございますが、記載内容に大きな相違はございません。

**3. 【会費 3 万円のオンラインサロン、会員数は堀江貴文氏を超えた】内の記事について**

当該見出し内の記事内に、

「KAZMAX は高騰していたビットコインがいずれ値崩れすることを察知し、ショート(売り)目線をいち早く発信。それが見事にあたった時期があった。彼の Twitter を見ていれば、実際に行う取引がリアルタイムで分かるのです。それをタイミングよく真似れば、仮想通貨取引の初心者も大きな利益を得ることができる。

Twitter のフォロワー数は爆発的に増加しました」(X 氏)

そこで KAZMAX 氏は先出し配信が売りになることに気づく。2018 年 8 月には、月額会費制のオンラインサロン「KTS(KAZMAX Trader's Salon)」を開設した。

と記載がありますが、オンラインサロン発足の経緯は、Twitter 上で無料配信していた内容について賞賛のコメントを頂く一方で、一部の方々から悪意のあるコメントを多数受けたことから、私を本当に必要として頂ける方みのクローズドコミュニティを形成する必要があるという思いから生まれたものです。

また、大前提として KAZMAX TRADER'S SALON(以下、KTS)はミラートレードを一切推奨しておりません。当該記事には『先出しの配信が売りになる』と記載がありますが、相場に絶対は存在しません。ファンダメンタルズ、テクニカル分析、メンタルコントロール、資金計画など投資判断をする為の基準は多岐に渡ります。実際の取引を通じて最善であると判断した根拠をどのように行っているかを見て学ぶことにより、状況に応じた判断力を養い会員様の今後の投資人生の中での”不要なリスクを取らないこと”を学ぶための場として考えています。

そのため、KTSでは契約期間に縛りなど設けておらず KTS 内容を以て判断し、ご自身の意志で退会できるようにしております。

#### 4. 【「サロン生はほとんどが KAZMAX を盲信する“信者”】内の記事について

当該見出し内の記事内に、

「自分の発言ひとつでサロン生が持つ億単位の資金が動くこともあるんです。KAZMAX はそれを自分の力だと錯覚していった。彼はそれを『サロン砲』と呼び、自分や身内の利益のために利用するようになっていきました」(同前)

前述した通り、ミラートレードは一切推奨しておりませんでしたが、トレード指南の過程において短期間で値動きが生じるケースもございました。KTS のトレードの本質は中長期のスイングトレードです。

KTSでは、短期間の価格変動における決済を基本的には想定しておらず、それらによる利益の享受を受ける事が目的ではない為、このような状況下での投資は本来のあるべき姿ではないと常々考えておりました。そこから段々と中長期での取引を行うことのできる金融商品の取り扱いができるようにしたいと考えるようになり、現在の KTS の形となりました。

該当記事の『サロン砲』に関しまして、吉澤自身が『サロン砲』を利用して利益を得ていたという事実は一切ありません。全ての取引において、会員様と利益相反になる様な行為は一切していません。

そもそも前述のとおり中長期のスイングトレードは低いレバレッジでポジションを数日以上保有するケースもあり、短期的な値動きによる恩恵を受ける立場でもございません。

#### 5. 【「サロン公開前に情報が共有される秘密の LINE グループが存在】内の記事について

当該見出し内の記事内に、

X 氏の PC からは、「KTS」という 11 人から成る秘密のグループの存在が確認できた。さらに、別の関係者からも「KAZMAX」という 35 人(2018 年 8 月 18 日時点)の LINE グループの存在を確認している。

記載された「不公正な事案」として

《仕手グループが、SNS で特定の仮想通貨について、時間・特定の取引の場を指定の上、当該仮想通貨の購入をフォローに促し、価格を吊り上げ、売り抜けたとされる事案》と「酷似したケース」という記載は、全く異なります。

「LINE グループが KTS より情報を早く受け取って利益を得ていた」という記事に関しまして、事実ベースとして KTS が発足した 8 月以降の全ての取引について LINE グループと KTS での告知タイミングの検証結果は以下の通りとなりました。

【総トレード回数/153 件】

内訳

LINE グループが 5 分以上早い / 9 件

KTS が 5 分以上早い / 8 件

その他(差 5 分未満) / 136 件

上記の通り、事実として、LINE グループに絶対的な優位性があったということはありません。但し、調査の結果、5 分以上の差異のうちの 3 件については KTS 発足直後の時期に故意に差を設けていたものがございました。

本 LINE グループは KTS 発足の 5 ヶ月前(2018 年 3 月)から投資に興味にある方のみで結成され、個々の考えを議論するという場で活用されていました。その環境下の元で自分の投資手法を認めてもらうために積極的に発言した経緯がございました。この行為についてはお詫び申し上げます。

尚、該当のグループは 2019 年 2 月を以て活動を休止しております。

**6. 【20 倍のレバレッジを生む「サロン砲」の威力】内の記事について**

当該見出し内の記事内に、

「サロン砲の威力を知っているので 20 倍くらいのレバレッジは平気でかけられる。つまり、2000 万円分のビットコインをショートすれば、1トレードで数十万円の利益が出るんです。事実、LINE グループの 1 人は、『含み益がどんどん増えていって、マウスを持つ手が震えた』と言っていました」(同前)

KTS ではハイレバレッジの取引は一切推奨しておらず、第三者の個人的な見解であります。KTS では資金管理を最優先するように度々、発信させて頂いております。吉澤本人も常日頃から 2 倍～3 倍でのレバレッジ設定を徹底しており当該記事による内容は事実無根でございます。

(以上)

## 本件における自称告発者とされる方について

自称告発者(以下、X氏)とされる方との関係性についてです。

KTSの立ち上げを支えて頂き、良好な関係を築いていたのですが、運営方針や金銭面においての方針のズレから互いに不信感を抱いたのは事実でございます。

結果として、互いに別々の道を進むことになりましたがKTS発足時のX氏のKTSに対する貢献度も考慮しX氏の設立した法人の資本金を含め、毎月のKTSの運用システム(以下、システム)利用料も合わせて多額な費用をお支払いしております。

今年に入り、システムの利便性を向上させるための改善をX氏に度々依頼していましたが、予算感、対応領域に双方の折り合いがつかなくなり、他社システムへの乗り換えも検討せざるをえなくなりました。

そこで、X氏に「毎月のシステム利用料の内訳等について説明してほしい」と、仲介者(以下、T氏)を介してX氏と一席設けました。

T氏、X氏、吉澤の3名で2019年3月5日、西麻布の某高級焼き肉店にて話し合いを行いました。

その場でX氏から「設立当初から請求させて頂いていた金銭につきましては、本当に申し訳ございません。KTSの発展に寄与し別の形で補填する方向でお返しさせていただきます。」と申し出がありましたので、X氏も設立当初よりお支払いしていた金銭については妥当性がないことを認めています。

上記のことを踏まえ、KTS及び吉澤がX氏に対して不利益を生じさせたという認識は一切ございません。X氏についてはKTSの発展に向けて協力して頂けていると考えておりましたので、このような事態となり非常に残念でなりません。

いずれにせよ、X氏が関与するシステム会社が顧客であるKTS及び吉澤の個人情報を含め、業務上知り得た情報を第三者に無断で提供することは秘密保持の観点から見ても明らかな不当行為でございます。

到底、許されるべきではない行為の為、弁護士への相談を含め現在、対応を協議しております。

(以上)